

中花たちばな

豊岡市立豊岡南中学校
学校だより
令和6年12月5日

『夢や目標に向かい、自分とふるさとの未来を切り拓く子』

全国学力・学習状況調査の結果分析と対応策

今年度の全国学力・学習状況調査は、4月18日(木)に小学校6年生と中学校3年生を対象に全国の小中学校で実施されました。中学校3年生については、「国語」と「数学」の学力調査と生活習慣や学習習慣等に関する「質問紙調査」が実施されました。この調査の目的は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態を明らかにすることにより、今後の指導改善に役立てることです。本校の結果や分析を踏まえた改善点についてまとめましたので、その概要をお知らせするとともに本校のホームページにも掲載いたします。

学力調査(国語・数学)の結果と傾向

【全体として】

学力調査における本校の正答率は、国語、数学とも全国や県の平均と比較すると「やや下回る」結果でした。また、両教科とも「選択式」や「短答式」の問題に比べ、文章で解答する「記述式」の問題で無回答率が高く、正答率が低い傾向が見られました。文章で解答する問題に対して、「解答しなかったり、途中であきらめたりしたものがあった。」と答えている生徒が、国語で約3割、数学では約6割ありました。さらに、国語では「解答時間が足りなかった」生徒が3割以上あり、「解答に時間がかかりそうな問題」や「文章で自分の考えをまとめて答える問題」を苦手としている生徒が多いことがわかりました。

【国語(15問)】 ○…良かった点 ●…課題のあった点

- 「表現技法の種類を選択する設問」「漢字を問う設問」「具体と抽象の関係性を問う設問」「言語事項に関する知識」については、全国平均との差は小さく、ある程度力がついている。
- 「読み取った内容をもとに、自分の考えを記述する設問」の正答率が全国と比較して最も悪かった。「読解力と記述力の双方が必要な設問」に関しては、内容の読み取りができないために書くことができない状態であることが考えられる。

【数学(16問)】 ○…良かった点 ●…課題のあった点

- 「等式を必要に応じて変形し、ある文字について解くこと」「一次関数のグラフの特徴や、同様に確からしい事象を区別して簡単な場合の確率を求めること」については、教科書やワーク等で繰り返し演習ができていたため、知識・技能の定着が図れていた。
- 図形では、筋道を立てて考え、証明することが課題である。結論に至る流れの中でも根拠を明確にすることが大切であるので、根拠とともに自分の考えを相手に伝える活動を行っていきたい。

各教科における今後の手立て

【国語】

- ・読解の授業において「問い直し」の発問を提示し「ロイロノート」に個人が解答を提出する活動を繰り返す。全員が考えを示し、他者の答えと比較しながら、自らの読解を問い直すことで、読解力をつけさせていく。
- ・読解力向上には、語彙力の向上が欠かせない。語彙力を向上させるには読書推進の取組をさらに進めていきたい。

【数学】

- ・一次関数では数量の関係を読み取り、事象に即して解釈できるように、それぞれの事象における変化の割合、傾き、切片の意味を理解し、説明する場を設けていく。
- ・データの活用では、複数の集団のデータ分布の傾向を比較して読み取り、着目した範囲のデータが全体の何パーセントを占めているのかを確認したうえで、考察する活動の充実を図っていく。

【社会】

- ・ロイロノートを使って意見を書いたり、学習の振り返りを書いて提出したりすることで、生徒一人一人が文章を記述する力を高めていく。他の生徒の記述も共有して文章の作り方を学習していく。
- ・複数の資料を見比べて読み解く問題を解いたり、地図帳を活用することで学習意欲を高める。

【理科】

- ・文章や問題を読んで、その意味を人に説明する活動を行う。読んだことを理解し、自分の言葉で伝え直すことで、自分が本当に理解しているか確認させる。
- ・こまめに問題演習を行い、基本事項の確認をしていく。問題を解くことに慣れさせていく。その際ロイロノートなどICTも活用し、個人の意見を書く機会も意図的に設けていく。

※ロイロノート・・・生徒からの発信を助け、共有、蓄積して、学び合うための教育ICTツールのこと。

【英語】

- ・既習事項の反復練習の回数を多く持ち、英文を使って自己表現活動を行う。
- ・Part ごとにある「Speak」「Talk」「Write」の活用をする。

【音楽】

- ・楽曲の内容について、音楽的要素以外の内容の学習に時間を取る。
- ・器楽分野で各課題に対して練習計画を立てる時間を作る。

【美術】

- ・制作前の主題の設定、目標をより細かくし、達成感を味わわせる。
- ・グループワークや生徒作品を鑑賞する時間を設け、自分の作品の主題を見つけさせる。

【保健体育】

- ・中学3年間の中で課題を見つける力や解決力、技能を伸ばし、生涯にわたりスポーツに親しむ力を涵養する。
- ・目標や評価ポイントを細かく明確に示し、課題やその解決へのポイントを生徒自身で考えやすくする。

【技術家庭】

- ・情報リテラシーを高め、自分の考えを深める材料を的確に収集する力をつける。
- ・作品や考えを班やグループで共有しブラッシュアップする機会を設定する。

生活習慣や学習習慣に関する生徒質問紙調査から(一部抜粋)

※数値は肯定的な回答の割合

	質 問 項 目	全国%	本校%
①	△朝食を毎日食べていますか	91.2	88.2
②	○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	80.7	81.1
③	○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.5	94.1
④	○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	90.4	94.7
⑤	○自分には、よいところがあると思いますか	83.3	84.3
⑥	△将来の夢や目標を持っていますか	66.3	62.7
⑦	◎困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	67.5	75.8
⑧	△先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	84.9	82.3
⑨	○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.7	96.8
⑩	○人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.2	98.1
⑪	○学校に行くのが楽しいと思いますか	83.8	87.6
⑫	◎地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	76.1	83.0
⑬	△平日(月～金)1日当たり1時間以上家庭学習(塾を含む)をしている	64.3	60.2
⑭	△休日(日・祝)1日当たり1時間以上家庭学習(塾を含む)をしている	63.0	59.5
⑮	▲平日(月～金)1日当たり2時間以上ゲームをしている	48.9	56.2
⑯	▲平日(月～金)1日当たり2時間以上スマホでSNSや動画視聴をしている	55.9	66.0
⑰	△スマホやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている	72.2	68.0

【全国平均と比較して、◎…5p以上上回っている ○…上回っている △…下回っている ▲…5p以下下回っている】

アンケートの質問数は69問ありました。その中から上記の17の項目に着目し、全国平均と比較して考察してみました。質問①については、朝食を毎日食べていない生徒が1割以上あり、昨年度と比較しても、5%以上増加しています。朝食は脳と体に栄養を補給し、健康の源となります。必ず毎朝、食べてほしいと思います。質問②③については、全国を上回り、昨年度よりも2%以上増加しています。家庭と学校とで協力して睡眠記録に取り組んでいる成果だと感じています。

質問④⑦に関しては、教職員が生徒に寄り添い、生徒の声に耳を傾けることで、生徒たちが何でも話せる環境が整ってきたからだと推測します。引き続き、多くの目で生徒を見守り、生徒理解を心掛けたサポート体制の充実に努めます。

質問⑧については、昨年度よりは改善されたものの、全国平均には届きませんでした。生徒たちが「学びたい」と意欲を持ち、「わかった」「できた」を実感できる授業づくりに取り組んでいきます。

質問⑤⑩については、めざす学校像として「生徒も職員も、登校することを楽しみに思える学校づくり」を継続してきた成果だと感じています。これからも生徒たちへの「肯定的なかかわり」を大切にしていきたいと考えています。

質問⑫については、全国平均を7%近く上回りました。今後も「教科学習」と「ふるさと教育」の連動に努めていきます。

質問⑬～⑯の調査結果からは、平日、休日ともに「家庭学習」の時間が全国平均よりも少なく、「ゲーム」や「SNSや動画視聴」に時間を費やしていることがわかります。質問⑰では、スマホ使用の約束を守っていない生徒が3割以上あり、2割の生徒は「約束がない」と回答しています。お子様の健全な成長と学力向上のために、使用時間や使用方法について、ご家庭でのルール作りと適切な管理をよろしく願います。